

平成 28 年 12 月 1 日現在

C A P

Central Tomakomai Active Project (まちなか再生総合プロジェクト)

プログラムパート 3

【平成 29 年度 実践プログラム (案)】

平成 29 年〇月策定

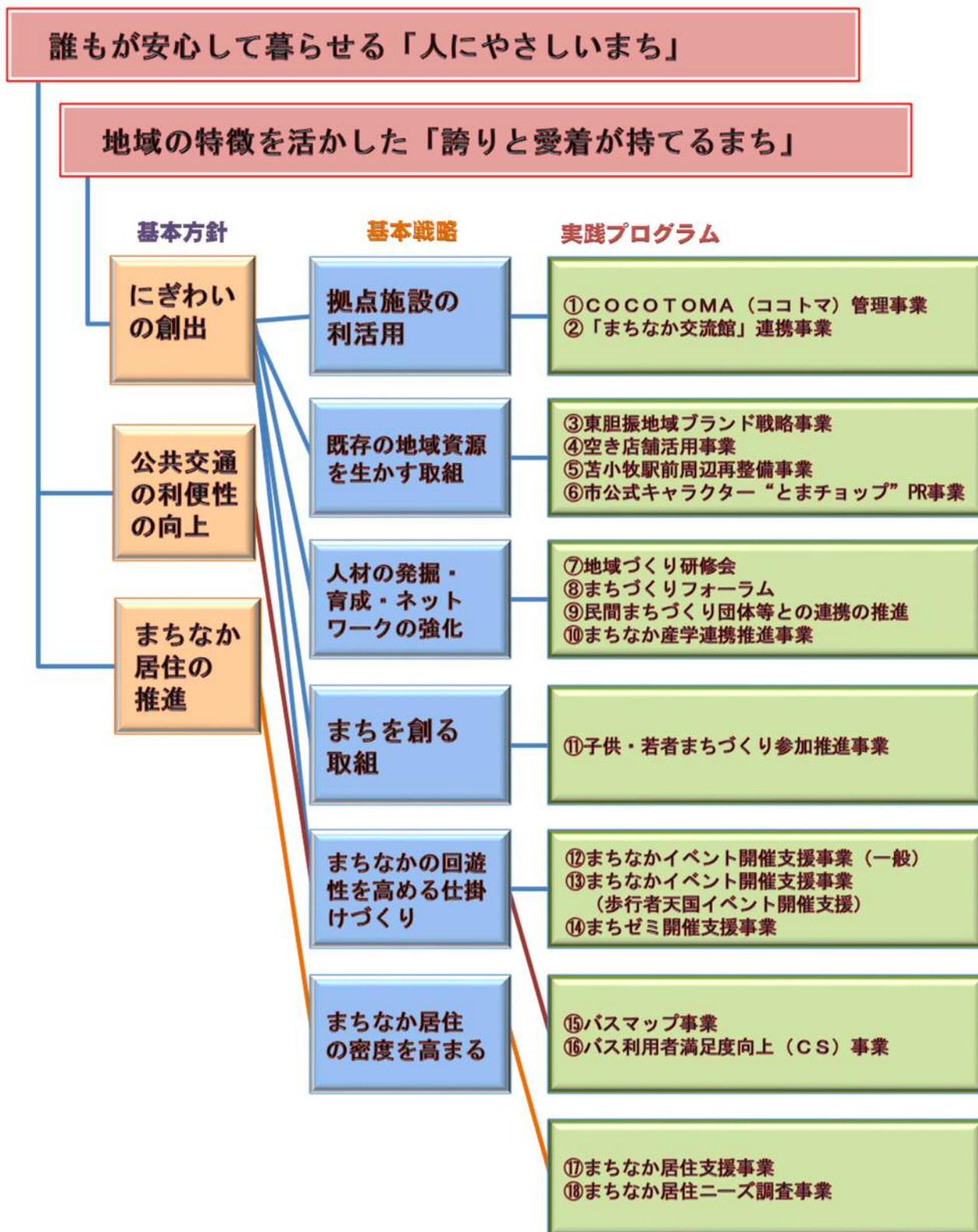
苫小牧市

平成29年度 実践プログラム（目次）

目標及び基本方針、実践プログラム	P. 1
1 にぎわいの創出に係る事業	P. 2
・COCOTOMA (ココトマ) 管理事業	P. 2
・「まちなか交流館」連携事業	P. 4
・東胆振地域ブランド戦略事業	P. 6
・空き店舗活用事業	P. 8
・苫小牧駅前周辺再整備事業	P. 10
・苫小牧市公式キャラクター“とまチョップ”PR事業	P. 12
・CAP啓発事業 地域づくり研修会 まちづくりフォーラム 民間まちづくり団体等との連携の推進	P. 14
・まちなか産学連携推進事業	P. 20
・子供・若者まちづくり参加推進事業	P. 22
・まちなかイベント開催支援事業 一般 歩行者天国イベント開催支援	P. 24
・まちゼミ開催支援事業	P. 28
2 公共交通の利便性の向上に係る事業	P. 30
・バスマップ事業	P. 30
・バス利用者満足度向上(CS)事業	P. 32

3 まちなか居住の推進に係る事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 34
・まちなか居住支援事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 34
・まちなか居住ニーズ調査事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 36

[目標]

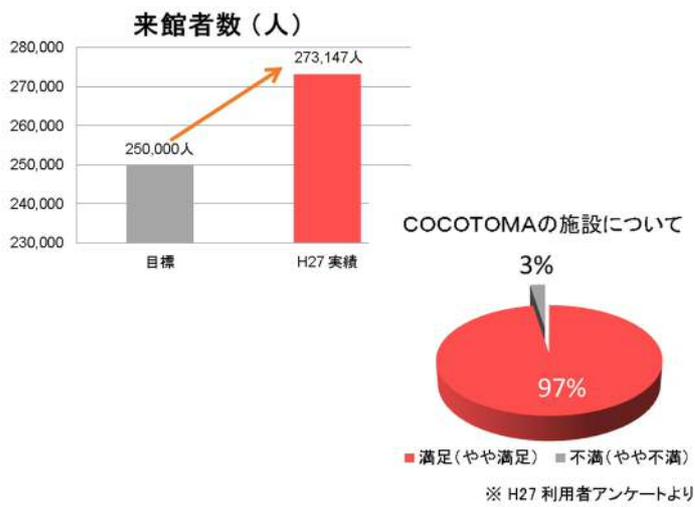


1 にぎわいの創出に係る事業

事業名	①COCOTOMA（ココトマ）管理事業 【継続】
実施主体	市、指定管理者等
目的	幅広い世代の人々が集い楽しむ交流拠点と位置付け、まちなかの魅力発信、にぎわい創出を図る。
内容	幅広い層の利用者が集い、多様なコミュニケーションが創造される「場」の提供、イベントの開催、東胆振の食材を使ったメニューの提供等により、にぎわいの創出を図る。
実施時期	平成26年度～
経過等	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度 ワークショップ、意見交換会でコンセプト決定 ○平成24年8月 「あり方検討委員会」から提言書受理 ○平成25年9月 議会において設置条例議決 ○平成26年3月 指定管理者選定等委員会において、指定管理者候補者の決定 ○平成26年6月 議会で指定管理者選定 ○平成26年10月 貸主と賃貸借契約締結、指定管理者と基本協定締結 ○平成26年11月 COCOTOMA開設 ○平成27年3月 来館者数10万人を達成 ○平成27年度は来館年間目標の25万人を上回る27万3千人が来館 ○平成28年10月 来館者数50万人を達成
備考	



COCOTOMA館内での
イベント等



平成 27 年度
COCOTOMAの
来館者数 273,147 人
利用満足度
(満足・やや満足) 97%



東胆振の食材を使った
CAFE メニュー

事業名	②「まちなか交流館」連携事業【継続】
実施主体	苫小牧信用金庫、市、各商店街等
目的	まちなか交流館と連携し、にぎわい創出に係る事業を行うことで、利用者の増加を図るとともに、まちなかに人の流れを生み出す。
内容	COCOTOMA(ココトマ)、商店街等と連携した事業展開により、まちなかの回遊性の向上、滞留性の強化を図るため、広報、PR、イベント開催の支援等を実施する。
実施時期	平成23年度～
経過等	<ul style="list-style-type: none"> ○平成21～22年度 苫信本店建替え計画の中で、CAP素案に盛り込まれた足湯に賛同 ○平成23年12月 まちなか交流館完成（苫信の単独事業として建設） ○平成24年 苫信本店前の歩道整備工事実施 ○街づくり実行委員会及び駅前通商店街振興組合にイベント事業費を補助 ○平成28年2月 市・駅前通商店街等と連携しスタンプラリーを実施 ○平成28年6月 とまチョップまちなか冒険クイズラリーを実施
備考	



まちなか交流館の外観



まちなか交流館の館内①



まちなか交流館の館内②
(イベント開催中)

事業名	③東胆振地域ブランド戦略事業 【継続】
実施主体	東胆振地域ブランド創造協議会 東胆振1市4町（苫小牧、厚真、安平、むかわ、白老）
目的	東胆振の1市4町が連携し、東胆振の魅力、個性を磨き上げ、広域連携により一体的な東胆振の発展を目指すとともに交流人口の増加、持続可能な地域の発展を目指す。
内容	東胆振地域ブランド推進計画に基づき、COCOTOMA（ココトマ）を地域情報の発信拠点にするなど、本市まちなか及び地域全体の集客交流・活性化に取り組む。 また、東胆振地域の周遊を促すことを目的にゴルフ場や物販等を掲載したパンフレットの配布を行う。
実施時期	平成23年度～
経過等	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年12月、東胆振1市4町により協議会設立 ○平成23～24年度「東胆振ブランド推進計画」策定 ○モニターツアーの開催 ○東胆振まるごとよくばり弁当の販売開催 ○平成26～27年度「東胆振ブランド推進計画ステージ2」策定 ○東いぶり de いぶリアルキャンプ場 ガイドブックの作製 ○平成27年10月策定の「定住自立圏共生ビジョン」に地域ブランド推進が3本柱の1つに掲げられる。 ○見て！食べて！遊んで！東いぶりツアー体験を実施 ○平成28～29年度「東胆振ブランド推進計画ステージ3」策定 ○道庁赤れんが庁舎前庭市町村PRイベントを実施
備考	



平成 28 年 3 月 20 日（日）
COCOTOMA と共催で
「見て！食べて！遊んで！
東いぶりツアー体験」を実施



東胆振の周遊を目的として
「東いぶり de いぶリアル
キャンプ場 ガイドブック」
の作製



平成 28 年 10 月 7 日（金）
10 月 8 日（土）
道庁赤れんが庁舎前庭市町
村PRイベント（東胆振物
産観光フェア）を実施

事業名	④空き店舗活用事業 【継続】
実施主体	市、各商店街、民間事業者等
目的	まちなかにある空き店舗を活用し、集客に役立つ施設等を開設する事業者等に対して支援を行い、中心市街地の活性化を図る。
内容	<p>まちなかにおける空き店舗を活用し、集客に役立つ施設等を開設する事業者等に対して店舗賃借料または店舗移転改装費の一部を補助する。(商業振興課の事業) .</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗賃借料 月額賃借料の 1/2 以内 (上限 5 万円)、補助期間は 12 か月以内 ・店舗移転改装費 対象経費の 1/2 以内 (上限 45 万円) <p>※ 賃借料・移転改装費ともに 1,000 円未満端数切り捨て</p> <p>苫小牧市中心部に存在する空き店舗に関する情報をHP上で紹介</p>
実施時期	平成 16 年度 ~
経過等	<p>○平成 16 年度 空き店舗活用事業が開始</p> <p>○平成 23 年度から店舗改装費も補助対象に含む。</p> <p>○平成 26 年度から店舗移転改装費として移転に係る経費も対象となる。</p> <p>○平成 27 年度から移転改装費の上限を 45 万円とした。</p> <p>※ その他にもHP上から空き店舗情報を検索・閲覧できる「空き店舗情報発信マップ」を公開し空き店舗の有効活用を図った。</p>
備考	



苫小牧市空き店舗情報発信マップ

◆物件番号 H27-001 (苫小牧駅通中心商店街振興組合エリア)

所在地	苫小牧市表町2丁目3番11号 ローヤル館
前店舗の業種	1Fカラオケ店
連絡先	0144-87-3777 (株式会社 グローバルゲイト 苫小牧支店)
その他補足情報	1階、2階、3階 空き有

※物件に関するお問い合わせは直接上記の連絡先へお願いします。

【掲載者】
苫小牧市産業経済部産業観光課
(電話) 0144-32-6445

苫小牧市空き店舗情報発信マップ 物件の詳細

事業名	⑤苫小牧駅前周辺再整備事業 【継続】
実施主体	市、北海道、民間事業者等
目的	駅を拠点としたまちの活性化・再生を図る
内容	歴史・文化を発信する「苫小牧の顔」として、苫小牧駅前周辺エリアの将来的な再生を目指す。
実施時期	平成9年度～
経過等	○平成9年度 駅前広場の改修（再整備） ○平成27年度 苫小牧市バリアフリー基本構想の策定 ○平成28年度 苫小牧市バリアフリー基本構想 特定事業計画の策定
備考	駅前の商業ビルの動向を見ながら対応を進めていく。



苫小牧駅前周辺①



苫小牧駅前周辺②

事業名	⑥苦小牧市公式キャラクター“とまチョップ”PR事業【継続】
実施主体	市、観光協会、民間事業者等
目的	本市の公式キャラクターとして、イベントの出演や市民・ファンとのふれあいを通じ、本市及びまちなかのPRを行う。
内容	キャラクターを活用した市内外のイベントの出演、商品化、ブログやFacebook、インスタグラムを通じて地域情報等の発信を行い、本市及びまちなかのPRを行う。
実施時期	平成23年度～
経過等	<p>○平成22年9月 緑陵中の総合学習で公式キャラクターの活用が示され、市長の目に留まった。</p> <p>○平成23年1月 子ども会議において名称、デザイン原案を決定</p> <p>○平成23年8月 とまチョップ誕生</p> <p>○平成24年4月 グッズの販売開始、5月苦小牧観光大使就任</p> <p>○平成24年、25年 「ゆるキャラGP」に出場し好成績を収める。</p> <p>○平成25年度 サポーター制度導入、26年から市内貸出制度導入</p> <p>○平成27年11月 姉妹都市ニュージーランドネーピア市で海外デビュー</p> <p>○平成28年2月 苦小牧市副市鳥に任命</p> <p>○平成28年8月 誕生から5周年を迎える。</p>
備考	平成29年7月 ご当地キャラふれんどフェスティバル in とまこまいを開催予定



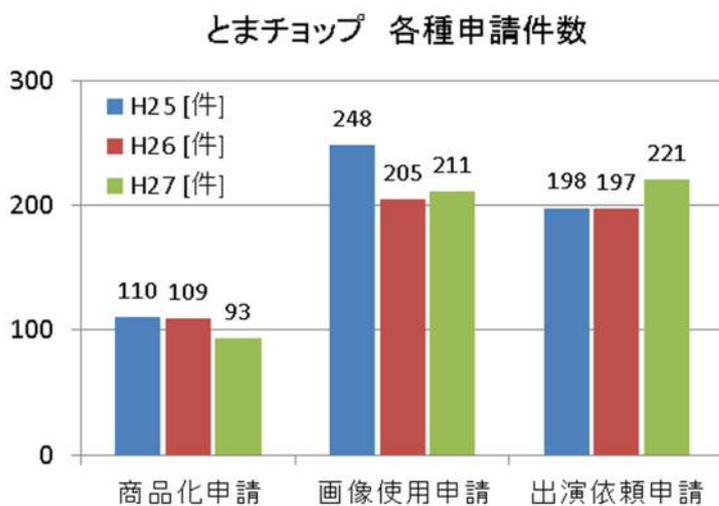
市内各所でのイベントに参加

平成 27 年 11 月 姉妹都市
ニュージーランドネーピア
市で海外デビュー

平成 28 年 2 月 苫小牧市
副市鳥に任命



とまチョップの自己紹介



過去 3 年間の各種申請件数

事業名	⑦CAP啓発事業（地域づくり研修会）【継続】
実施主体	市
目的	まちづくりや各種施策に携わる人材の育成、ネットワークの強化を図る。
内容	研修会の開催を通じて、他都市の事例を学び、まちづくりに対する機運の醸成や人材の育成・発掘を行い、関係者のネットワークを構築する。
実施時期	平成23年度～
経過等	<p>○平成23年7月 第1回 地域づくり研修会 「民間主導によるまちづくりのあり方について」加藤 慎一郎 氏</p> <p>○平成24年11月 第2回 地域づくり研修会 「ライブラリーカフェについて考える」服部 彰治 氏</p> <p>○平成25年8月 第3回 地域づくり研修会 「東京ディズニーリゾート経営に学ぶおもてなしの心」 田中 みどり 氏</p> <p>○平成27年2月 第4回 地域づくり研修会 「おもてなしセミナー」古川 智子 氏</p> <p>○平成28年3月 第5回 地域づくり研修会 「まちなかの活性化をみんなで考えよう！」白鳥 健志 氏</p>
備考	



第4回 地域づくり研修会
「おもてなしセミナー」
古川 智子 氏

参加者 21 名



第5回 地域づくり研修会
①
「まちなかの活性化をみんな
で考えよう！」
白鳥 健志 氏

参加者 21 名



第5回 地域づくり研修会
②

事業名	⑧CAP啓発事業（まちづくりフォーラム）【継続】
実施主体	市
目的	まちづくりの考え方やCAPの施策を広く市民、商店街、企業関係者に発信し、まちづくりに対する機運の醸成を行う。
内容	フォーラムの開催を通じて、他都市の先進事例を学び、まちづくりに対する機運の醸成や人材の育成・発掘、関係者のネットワークを構築する。
実施時期	平成23年度～
経過等	<p>○平成23年10月 第1回 まちづくりフォーラム 「まちなか再生とこれからの日本」 藻谷 浩介 氏</p> <p>○平成24年5月 第2回 まちづくりフォーラム 「栃木日光アイスバックスの挑戦」 セルジオ越後 氏</p> <p>○平成25年10月 第3回 まちづくりフォーラム 「商人が語る中心市街地活性化の秘訣とは？」 松井 洋一郎 氏</p> <p>○平成27年1月 第4回 まちづくりフォーラム 「函館・イカール星人の仕掛け人が語る地域活性化」 阪口 あき子 氏</p> <p>○平成28年2月 第5回 まちづくりフォーラム 「“オビヒロホコテン” に学ぶ中心市街地活性化」 細川 吉博 氏、金澤 和彦 氏</p>
備考	



第4回 まちづくりフォーラム

「函館・イカール星人の仕掛け人が語る地域活性化」

阪口 あき子 氏

参加者 50 名



第5回 まちづくりフォーラム①

「“オビヒロホコテン”に学ぶ中心市街地活性化」

細川 吉博 氏

金澤 和彦 氏

参加者 70 名



第5回 まちづくりフォーラム②

事業名	⑨CAP啓発事業（民間まちづくり団体等との連携の推進）【継続】
実施主体	市、大学、各商店街、民間事業者等
目的	構築された地域一体での推進体制により、まちなかの関連団体、各施設間の連携を強化する。
内容	まちづくりに対する機運の醸成や人材の育成・発掘、関係者のネットワークの構築を図る。
実施時期	平成27年度～
経過等	<p>○平成26年度　メンバー候補である商業関係者、団体関係者等と準備会として、意見交換、意向確認を行う。</p> <p>○平成27年5月　まちなかクリエイティブラボ（以下：まちラボ）を設立</p> <p>○駅前野外音楽フェス　活性の火における実行委員会とココトマの連携事業</p> <p>○ココトマと駒澤大学（留学生）が連携してカフェメニューの多言語化</p> <p>○定期的に会合を実施</p>
備考	

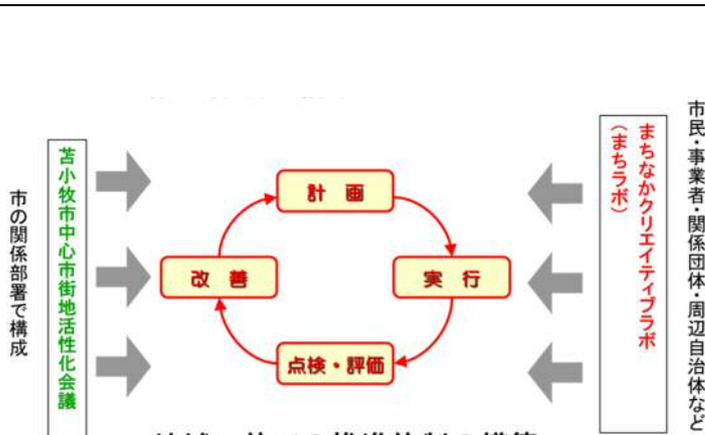


第1回 まちなかクリエイティブラボ会合



平成 27 年 6 月 26 日
 苦小牧民報
 まちなかクリエイティブラボ発足

平成 28 年 2 月 17 日
 苦小牧民報
 コトマと駒澤大学（留学生）が連携してカフェメニューの多言語化事業



地域一体での推進体制

事業名	⑩まちなか産学連携推進事業 【新規】
実施主体	大学、市、企業、商業関係者等
目的	産学連携の推進により、まちなかにおける課題の解決、新たな発想となるにぎわい創出を図る。
内容	まちなかにおいて、企業、商業関係者等と連携して、調査研究活動、政策提言、まちづくり活動を実施する学校（講義、授業、部活動等を含む）に産学連携の推進及びまちなかの課題解決に向けた支援を実施する。
実施時期	平成 29 年度 ～
経過等	○平成 27 年 小樽商科大学から本市まちなかをフィールドにした学生の実習を実施できないか提案を受ける。 ○平成 28 年 平成 29 年度の開催に向けて、他市事例の見学、市内施設等の下見を実施 ○平成 28 年 7 月 苫小牧駒澤大学の学生によるまちづくりの提案発表会
備考	



地域再生システム論 in 小樽



平成 28 年 7 月
苫小牧駒澤大学の学生によるまちづくりの提案発表会

事業名	⑪子供・若者まちづくり参加推進事業 【新規】
実施主体	市、学校、各商店街、民間事業者等
目的	子供・若者が地域と連携し、まちづくりに関わることで「まちが変わる」という成功体験を体感してもらい、まちへの愛着、将来まちを良くしたいという気持ちを育てる。
内容	若い世代の市民がまちづくり活動に携わる機会を創出し、まちなかの環境整備に取り組む。
実施時期	平成 29 年度 ～
経過等	○平成 28 年度 まちなかみんなのベンチ♪ プロジェクトをプレイベントとして実施
備考	



まちなかみんなのベンチ♪
プロジェクト



【他都市の事例】
南町 2850 プロジェクト①
(喜多方市)
地元高校の生徒と一緒に憩いの空間を整備



【他都市の事例】
南町 2850 プロジェクト②
(喜多方市)

事業名	⑫まちなかイベント開催支援事業 【新規】 (一般)
実施主体	市、学校、各商店街、民間事業者等
目的	市民団体等が開催するイベント等を支援し、まちづくりに関わる市民の交流を促進するとともに、まちなかのにぎわい創出を図る。
内容	まちなかを活性化しようとするイベントに対し、事業費の一部を支援する。 対象経費の1/2以内 まちなかで開催されているイベント情報をマップで発信して周知・PRを行う。
実施時期	平成29年度～
経過等	
備考	



平成 28 年 10 月
ハッピーハロウィンフェス
タ①



平成 28 年 10 月
ハッピーハロウィンフェス
タ②

事業名	⑬まちなかイベント開催支援事業 【新規】 (歩行者天国イベント開催支援)
実施主体	市、各商店街、民間事業者等
目的	各商店街、民間事業者等と連携して、歩行者天国を通じたイベントをまちなかで開催、交流人口の増加を図る。
内容	駅前本通の一部区間を歩行者天国にして、にぎわい創出を図るためのイベントの開催を支援する。
実施時期	平成 29 年度 ～
経過等	
備考	<p>※ 平成 28 年度まで「まちなかイベント開催事業」として、民間委託にて「いきいきまちなかイベント」を実施</p> <p>実績は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 24 年 10 月いきいきまちなかイベント Vol. 1 来場者数約 2,000 人 (2 日間) ○平成 25 年 9 月いきいきまちなかイベント Vol. 2 来場者数約 2,700 人 (2 日間) ○平成 26 年 9 月いきいきまちなかイベント Vol. 3 来場者数約 4,300 人 (2 日間) ○平成 27 年 9 月いきいきまちなかイベント Vol. 4 来場者数約 4,000 人 (2 日間) ○平成 28 年 9 月いきいきまちなかイベント Vol. 5 来場者数約 3,800 人 (2 日間) <p>※Vol. 3 以降は娯楽場パーク前市道において、歩行者天国スタイルとして実施</p>



いきいきまちなかイベント
①



いきいきまちなかイベント
②



いきいきまちなかイベント
③

事業名	⑭まちゼミ開催支援事業 【新規】
実施主体	各商店街、市、民間事業者等
目的	郊外の大規模小売店舗との差別化を図った魅力ある個性的な店舗の集積は中心市街地の活性化に不可欠である。市民が学び知る場を商店街に設け、個店の活力や集客力の向上、通りの魅力向上や賑わいの創出につなげることを目的に各個店の店主等が講師として開設するまちゼミの開催を支援する。
内容	まちゼミ（まちで得するゼミナール）の開催を通じて個店の魅力発信 まちゼミの開催に向けた研修の実施
実施時期	平成 29 年度 ～
経過等	
備考	<p>※ 平成 28 年度まで「まちゼミ事業」として、民間委託にて「まちゼミ」を実施</p> <p>実績は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 25 年 2～3 月、第 1 回まちゼミ（15 店舗 30 講座 190 名受講） <ul style="list-style-type: none"> ※ 苫小牧市が北海道内で初めてまちゼミを開催 ○平成 25 年 10～11 月 第 2 回まちゼミ（19 店舗 29 講座 90 名受講） ○平成 26 年 9～10 月 第 3 回まちゼミ（21 店舗 37 講座 268 名受講） ○平成 28 年 1～2 月 第 4 回まちゼミ（35 店舗 77 講座 448 名受講） ○平成 28 年 10 月～11 月 第 5 回まちゼミ（31 店舗 59 講座） <p style="text-align: right;">↑受講者数は集計中</p> <p>※ 平成 26 年度、平成 27 年度は苫小牧駒澤大と連携で教授・学生による講座を開催</p>

第5回 まちゼミチラシ



まちゼミの受講風景



平成 27 年度は北海道内最大規模で実施



2 公共交通の利便性の向上に係る事業

事業名	⑮バスマップ事業 【新規】
実施主体	市、公共交通協議会、民間事業者等
目的	バスの利便性向上を図り、まちなかと各地域を結ぶ路線バスの利用者増を図る。
内容	バスマップを作成し、まちなかにおけるバス停付近の店舗、公共施設等の情報、バスの便利な使い方等を発信する。
実施時期	平成 29 年度 ～
経過等	
備考	



【他都市の事例】
バスマップ
(八戸市)



【他都市の事例】
バスマップ
(呉市)

事業名	⑩バス利用者満足度（CS）向上事業 【新規】
実施主体	市、公共交通協議会、民間事業者等
目的	バスの親しみやすさ、乗りやすさを向上させ、顧客満足度を高める。
内容	「市立病院港町循環線」の顧客満足度向上に向け、バスのリノベーション等の取組を実施する。
実施時期	平成 29 年度 ～
経過等	○平成 28 年 8 月 インターンシップの学生と循環バスの顧客満足度（CS）調査を試験的に実施
備考	



【他都市の事例】
学生による顧客調査
(神戸市 みなと観光バス)



【他都市の事例】
ギャラリーバス
[ハロウィン]
(佐世保市 西肥バス)



【他都市の事例】
デコレーションバス
[七夕]
(佐世保市 西肥バス)

3 まちなか居住の推進に係る事業

事業名	⑰まちなか居住支援事業 【継続】
実施主体	市
目的	中心市街地に賃貸住宅を建設する者に対して、その費用の一部を助成することにより、良質な住宅の供給及びストックの形成を図り、中心市街地のにぎわいを創出する。
内容	中心市街地に賃貸住宅を建設する者に対して、一戸あたり 100 万円を助成する。※別途申請条件あり
実施時期	平成 26 年度 ～
経過等	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 26 年度 「賃貸住宅建設補助金」制度を創設 ○平成 27 年度 150 戸分 150,000 千円を予算計上し、1 件 (72 戸分) 申請があった。 ○平成 28 年 2 月 苫小牧市賃貸住宅建設計画認定基準の改正 (対象住宅を 1 棟当たり 6 戸以上から 4 戸以上に要件緩和) ○平成 28 年度 124 戸分 124,000 千円を予算計上
備考	



旭町3丁目に建設中の賃貸住宅（72戸）の外観パース
※平成29年2月完成予定

事業名	⑱まちなか居住ニーズ調査事業 【継続】
実施主体	市
目的	まちなか居住を推進させるため、不動産事業者や金融機関等の意向、課題等を把握、現状に適した施策の検討材料に活用する。
内容	まちなかに良質な住宅の供給及びストックの形成等を図るため、不動産事業者、金融機関等にニーズ等の調査を行う。
実施時期	平成 26 年度 ～
経過等	○宅建協会を通じて、不動産事業者等にアンケート調査を実施 ○市内金融機関にニーズ調査を実施
備考	

